

第2回 福知山鉄道館企画会議 次第

日時：令和5年2月8日（水）
午後6時～午後7時30分
場所：市民交流プラザふくちやま
4階 会議室4-1

- 1 前回ふりかえり
- 2 鉄道館の愛称及びロゴデザイン案について
- 3 次年度の運営について
- 4 事務連絡

令和4年度 福知山鉄道館企画会議委員 名簿

	テーマ	所属	氏名
1	商工業	福知山商工会議所	柳井津 佑健
2	商工業	ゆらのガーデン出店者協議会	仁木 弥生
3	観光	福知山観光協会	福井 佳代
4	観光	サードプレスツーリズム協議会	奥田 友昭
5	子育て	子育て支援NPO法人 おひさまと風の子サロン	赤井 貴恵
6	子育て	石原ママサークル いいともさ	林あゆみ
7	鉄道	西日本鉄道OB会／福知山SL保存会	松山 美昭
8	教育	福知山市小学校教育研究会	井尻 貴幸
9	経営	福知山市産業支援センター ドッコイセ!biz	西山 周三
10	公募		岨尾 はづき
11	公募		宮田 毅
12	公募		友塚 絢人

1	事務局	福知山市産業政策部 部長	山中 忠雄
2	事務局	福知山市産業観光課 商業担当課長	森田 成章
3	事務局	福知山市産業観光課 商業振興係長	河野 恒州望
4	事務局	福知山市産業観光課 商業振興係	大柿 義広
5	事務局	福知山市産業観光課 商業振興係	伊庭 弥広

第1回 福知山鉄道館企画会議
議事概要

1 日 時 令和4年11月30日(水) 午後6時00分～午後7時40分

2 場 所 市民交流プラザふくちやま 3階 会議室3-2

3 参加者

委 員	柳井津 佑健 (福知山商工会議所)
	仁木 弥生 (ゆらのガーデン出店者協議会)
	福井 佳代 (福知山観光協会)
	奥田 友昭 (サードプレイスツーリズム協議会)
	赤井 貴恵 (子育て支援NPO法人おひさまと風の子サロン)
	松山 美昭 (西日本鉄道OB会/福知山SL保存会)
	井尻 貴幸 (福知山市小学校教育研究会)
	西山 周三 (福知山市産業支援センタードッコイセ!Biz)
	嶋尾 はづき (公募委員)
	宮田 毅 (公募委員)
	友塚 絢人 (公募委員)
事務局 (福知山市)	山中 忠雄 (産業政策部)
	森田 成章 (産業政策部産業観光課)
	河野 恒州望 (")
	伊庭 弥広 (")

4 会議概要

次 第	内 容
事務局挨拶 趣旨説明	山中産業政策部長
自己紹介	各委員及び事務局より自己紹介。
委員長互選	互選により柳井津佑健委員を委員長に選出。 また、委員長より赤井貴恵委員を副委員長に選出。
鉄道館の建設に係る経過・現状・今後について	事務局より、【資料】に基づき説明。
意見交換	新たな鉄道館の企画展やイベント等について具体的なアイデアや事例等も踏まえながら、企画にあたっての考え方・観点等について意見交換を行った。 今回の会議で出た意見について事務局で整理を行い、次回以降の会議にて、

資料提示の上、実現性等を踏まえ意見交換を行う。

(主な意見)

- 京都鉄道博物館もある中で、大人・マニアだけをターゲットにするのではなく、子ども・親子で何度も来ていただける施設にしないといけない。
- 市内や周辺市町の親は常に子どもを連れて行けるところを探している。
- 全国的に知名度のあるゲームに福知山が鉄道のまちとして載ればPRにはなる。
- 愛される場所には、愛される人が必要。以前、運営に携わられていた鉄道OBの方のように、子どもに好かれ、愛されるおじいさんのような人に、新しい鉄道館にいて欲しい。
- 施設単体で考えた場合、利益を上げるのは難しい。しかしながら公共施設なので「利益」というより、観光や商業の振興や子育てなどにおいて周辺地域にも効果がある有意義な施設とすることの方が重要。
- 教育の観点では、主体的で対話的な学びを得られることが重要。「また知りたい・もっと知りたい」という、更に深まっていく施設にできればいい。
- (交流企画展示では) アマチュアの方による写真展には丁度いいスペース。SNSでの投稿を受け付けて、週替わりで変えていくのもいい。
- Nゲージジオラマ模型もあるが、企画展示などでも大学生や高校生によるNゲージジオラマ模型の展示などすれば、子どもはかぶりついて見る。
- インタラクティブウォールなどのスペースを活用し、映像を上映しながら、鉄道OBの方の話を聞けるなどの学べる機会も大人やマニア向けにはいい。
- 鉄道OBの方による対談イベントなどを、開館終了後の夜間に実施する。
- 入場券は硬券の方がいい。グッズとしても販売できる。
- まち全体への周遊を考えた場合、ミニSLで2号館まで繋がるといい。新町商店街であればアーケードもあり天候の心配もない。
- 他の施設の話をついた際に、カプセルトイとトレインカーが収益の中核とついた。親も100円程度なら仕方ないとなついつい買ってしまふ。子ども目線で、小銭程度で楽しめる要素も必要。
- 駅弁フェアのようなイベントがあるといい。季節ごとに栗や筍などの駅弁もできる。
- 新たな鉄道館周辺にも飲食店はあるが、面をみたときに集積するのも魅力になる。
- 現在、鉄道に関する土産物品はない。以前は、タオルなどを販売されていた。行った記念になるものを欲しくなるものなので、そうした土産物品が必要。
- 大学生や高校生が、訪れる子どもたちの学びを後押しするような関わり方

	<p>もできる。</p> <p>■美術館で子どもの絵が展示されるとなれば、往復1時間かけてでも親は行く。</p> <p>■年間パスも検討が必要。福知山動物園が安く、近隣の子育て支援施設も無料で利用できるので、入館料が大人500円だと足を踏む。</p>
6 事務連絡	<p>第2回福知山鉄道館企画会議日程を、令和5年1月25日（水）午後6時～午後7時30分に決定。</p>

福知山鉄道館企画会議 意見まとめ

No.	タイトル	意見内容	補足情報・参考事例・具体案等	確認・調整事項、課題等
1	施設方針/ 検討の視点	京都鉄道博物館もある中で、大人・マニアだけをターゲットにするのではなく、子ども・親子で何度も来ていただける施設にしたいといけない。	・プラレール等のおもちゃを一般家庭では少し手が出しにくい価格帯や大きな規模感とする、あるいは地元業者等にここにしかない木のおもちゃ等を作ってもらい、ここでしか遊べない特別感を演出する。	・おもちゃの種類、数、選定、管理 ・子ども連れの親が気軽に立ち寄れる入館料 ・子どもを安心して遊ばせることのできる環境
2		施設単体で考えた場合、利益を上げるのは難しい。しかしながら公共施設なので「利益」というより、観光や商業の振興や子育てなどにおいて周辺地域にも効果がある有意義な施設とすることの方が重要。	・市内、周辺市町の幼稚園や小学生に校外学習の場として活用してもらう。	・教育課程による入館減免の検討 ・団体割引等の検討
3		教育の観点では、主体的で対話的な学びを得られることが重要。「また知りたい・もっと知りたい」という、更に深まっていく施設にできればいい。	・鉄道やまちの歴史に関するクイズを用意し、正解数に応じて特典が受けられるようにする。 ・但馬検定(公財但馬ふるさとづくり協会)	・知識を持った人材の確保
4	企画内容	(交流企画展示では)アマチュアの方による写真展には丁度いいスペース。SNSでの投稿を受け付けて、週替わりで変えていくのもいい。	・市展にも写真部門があり、比較的容易に実現可能。 ・敦賀赤レンガ倉庫ジオラマ館では、定期的に市民団体が写真展を実施している	・賞を決める場合は審査員が必要
5		Nゲージジオラマ模型もあるが、企画展示などでも大学生や高校生によるNゲージジオラマ模型の展示などすれば、子どもはかぶりついて見る。	・まちなかフェスティバル2022ではJR内の同好会の協力を得てジオラマ走行展示を実施し多くの人が訪れた。	・子どもに操作体験をしてもらうか ・ある程度広い場所が必要
6		インタラクティブウォールなどのスペースを活用し、映像を上映しながら、鉄道OBの方の話を聞けるなどの学べる機会も大人やマニア向けにはいい。	・例えば北丹鉄道の廃線ウォークのような内容で写真等を活用しながら市内にある鉄道の歴史を感じられるポイントを紹介する。	・映像の作成・確保 ・インタラクティブウォール用PC(またはプロジェクタ)との外部接続
7		鉄道OBの方による対談イベントなどを、開館終了後の夜間に実施する。	・鉄道の街を称する新潟県新津の新津鉄道資料館では、2018年に国鉄OB6人による座談会形式の週録を実施し、国鉄OBが語る鉄道の街新津、鉄道の街と言える由来、新津ならではの出来事、鉄道の街新津のレガシー等をテーマに映像を収録し、YouTube等でも閲覧できるようにしている。(検索:鉄道の街 新津 OB)	・対談相手やテーマの設定 ・入館料の設定
8		美術館で子どもの絵が展示されるとなれば、往復1時間かけてでも親は行く。	・美術館では小さな絵画展を年1回実施。テーマを設定し、幼児、小学生、中学生、高校生以上の枠に分類し作品募集。	・展示スペース、期間
9		駅弁フェアのようなイベントがあるといい。季節ごとに栗や筍などの駅弁もできる。新たな鉄道館周辺にも飲食店はあるが、面でもみたときに集積するのも魅力になる。	・まちなかフェスティバルでは福知山駅で駅弁を販売し、120食がすぐに完売した。 ・イオン等の催事スペースでも定期的に駅弁イベントが開催されている。	・売残り対策として企画展や乗車会等、集客が見込めるイベントに合わせて実施 ・駅弁の輸送時間のルールがある場合も ・ゆらのガーデン出店者と要調整
10		企画内容 (広域)	まち全体への周遊を考えた場合、ミニSLで2号館まで繋がるといい。新町商店街であればアーケードもあり天候の心配もない。	・実績あり ・2号館や西駅公園等をチェックポイントとしたデジタルスタンプラリー等であれば実施可能。

11	運営方法	愛される場所には、愛される人が必要。以前、運営に携わられていた鉄道OBの方のように、子どもに好かれ、愛されるおじいさんのような人に、新しい鉄道館にいて欲しい。	・旧1号館はOBの話が直接聞けるという点で好評を得ていた。津山まなびの鉄道館では、土日は鉄道OBの方がスタッフとして来館者をもてなしている。新しい鉄道館でも同様にOBの方の力をお借りして、エピソードや専門的な知識を語っていただきたい。	・継続性(鉄道OBの知識経験やエピソードの継承)
12		大学生や高校生が、訪れる子どもたちの学びを後押しするような関わり方もできる。	・福知山公立大学の鉄道サークルこうのとり等に協力いただき、Nゲージやプラレールを使って鉄道の仕組みや、車両の種類、路線図や時刻表の見方等を学べる機会を設定する。	・継続できる仕組み
13	ショップ	他の施設の話をした際に、カプセルトイレとトレインカーが収益の中核と伺った。親も100円程度なら仕方ないといういついつ買ってしまう。子ども目線で、小銭程度で楽しめる要素も必要。	・直営で設置する場合: 本体35,000円/台1回200円を想定、50個7,000円で仕入れ(原価率70%)、1日10個売れた場合200円×10個×26日=52,000円 ・委託販売の場合: 売上に対して一定の掛率が収入となる	・直営設置の場合、仕入れ等が市の事務処理では対応困難、外部に委託が必要 ・委託販売の場合は、初期費用、補充・集金との運用コスト、在庫リスクがないが収益性が低い
14		現在、鉄道に関する土産物品はない。以前は、タオルなどを販売されていた。行った記念になるものを欲しくなるものなので、そうした土産物品が必要。	・オリジナルグッズ(トートバッグやマグカップ)の作成を検討中 作成費用トートバッグ: 600~1,000円/個、マグカップ: 900~1,500円/個	・グッズ、価格帯、デザイン等どのようなものが効果的であるかご意見をいただきたい
15	プロモーション	全国的に知名度のあるゲームに福知山が鉄道のまちとして載ればPRにはなる。	・桃鉄の福知山の物件: 音頭せんべい屋、ブドウ園、タケノコ林、栗のテリヌ屋、痔の薬品工場、磁気テープ工場、ビタミン剤工場。 ・鉄道に興味がある有名人を招待し、SNS等にあげていただければPRになる。鈴川絢子さん等、全国の鉄道館を訪れ、その様子をユーチューブにあげている。	・アポ取り、費用感
16	入館料	年間パスも検討が必要。福知山動物園が安く、近隣の子育て支援施設も無料で利用できるため、入館料が大人500円だと足を踏む。	・京都鉄道博物館では小中学生1,000円(通常500円/回)、幼児(3歳以上)400円(通常200円)の年パスを設定。高校生・大学生と一般の年パス設定はないが、年パス入館者の同伴者2名まで2割引となる。	・近隣施設や類似施設とのバランス ・誘客と収支のバランス
17	その他	入場券は硬券の方がいい。グッズとしても販売できる。	・JR東日本のJREモールでは硬券の台紙を100枚1,100円程度で購入できる。期間枚数を限定して入館者増を狙うか、グッズとして販売する、あるいは手作りイベントにも活用可能。	・コストと効果
18		市内や周辺市町の親は常に子どもを連れて行ける場所を探している。	・雨の日や夏場冬場は屋内施設の需要が高い。舞鶴あそびあむは200円/人(市民は無料)ワック豊岡はこども200円保護者300円、篠山チルミュールは大人700円、小人500円、幼児250円(市民は無料)	・子ども連れの親が気軽に立ち寄れる金額 ・子どもを安心して遊ばせることのできる環境

福知山鉄道館 愛称及びロゴデザイン案募集結果 まとめ

【応募総数】

95件 ・ 49人(6歳～84歳)

【内 訳】

応募内容別

区分	応募件数[件]	応募者数[人]
施設愛称	71	28
施設愛称 + ロゴデザイン案	24	21

居住地別

区分	応募件数[件]	応募者数[人]
府内	27	24
市内	22	19
市外	5	5
府外	47	23
東京都	15	5
埼玉県	10	1
神奈川県	7	4
大阪府	4	3
山口県	2	1
愛知県	1	1
青森県	1	1
茨城県	1	1
静岡県	1	1
滋賀県	1	1
千葉県	1	1
兵庫県	1	1
栃木県	1	1
三重県	1	1
不明(無記載)	21	2

[令和4年第1回福知山市議会定例会委員会資料（追加分（その2））]

(仮称)福知山鉄道館ポップランド建設事業について

補足説明資料－7

産業政策部産業観光課

■収支シミュレーションの前提条件

※収支シミュレーション上の想定であり、下記条件は確定したものではありません。

- 1 令和5年8月1日の開館を想定。※開館時期は、収支シミュレーション上の想定。
- 2 開館時間 午前9時00分から午後5時00分
- 3 休館日 毎週火曜日及び年末年始(12月28日～31日、1月4日～6日)
- 4 人員配置等

区分	配置人数	業務内容	備考
正規職員	3名	施設の管理・運営に関する業務全般。うち、館長1名。	産業観光課職員兼務
嘱託職員	2名	経理・企画・広報・ショップ管理。	令和5年4月から雇用
臨時職員	平日3名・休日4名	受付等事務及び体験型コンテンツ補助、ショップでのレジ等対応。	令和5年7月から雇用
ガイドスタッフ	休日1名	鉄道のまちの歴史等に関するガイド。	令和5年8月から依頼

- 5 入館料 大人500円(中学生以上)、小人(小学生以下)250円 ※2歳未満無料
- 6 運転シミュレーター利用料300円/回
- 7 ショップスペースにて、鉄道関連グッズ及び土産物品等を販売。入館者の1.5割及び福知山城天守閣のみ入館した方の1割が購入。客単価を1,500円と想定。
- 8 ふるさと納税及びクラウドファンディング等の財源確保に取り組むが、今回の収支シミュレーションでは未計上。

次項へつづく

■入館者数推計概要

【令和6年度入館者数推計】

〔推計の方法〕

- 「運転シミュレーター」又は「なりきり体験機関助手」のいずれかを利用できる子どもの人数の最大値を基に、1日の入館者数を推計する。
(これを基準日の入館者数とする。基準日は9月の休日と仮定し、9月を基準月とする。)
- 基準日の入館者数を基に9月の平日の入館者数を推計し、基準月(9月)の1か月間の入館者数を算定する。
- 基準月(9月)の入館者数を基に他の月の入館者数を推計し、年間の入館者数を算定する。

1 基準日の入館者数推計

(1) 子どもの入館者数

「運転シミュレーター」の体験時間を1回10分(体験8分+入替・説明等2分)、「なりきり体験機関助手」は1回5分(体験3分+入替・説明等2分)とすると、1日の開館時間が7時間(420分)であるため、「運転シミュレーター」は最大42人(420分÷10分)、「なりきり体験機関助手」は、84人(420分÷5分)が利用できることから子どもの入館者数は126人となる。

(2) 子ども連れのグループの入館者数

子ども連れのグループの入館者数は、子ども1人あたり2.2人(※1)であることから277人となる。

$$* 126人 \times 2.2 \doteq 277人$$

(※1)過去開催イベント(R1.10.27開催「ミニ鉄道館」)の実績値から。なお、「子ども」は小学生以下。

(3) 基準日の入館者数

子ども連れのグループとそれ以外の入館者数の割合は7:3(※2)であることから、基準日の入館者数は396人となる。

$$* 277人 \times 10/7 \doteq 396人$$

(※2)福井県敦賀市のノスタルジオラマ館(鉄道と港のジオラマ展示等)などの全国の同種施設へのヒアリング結果から。

2 基準月(9月)の入館者数推計

(1) 基準月(9月)の平日の入館者数

平日と休日の入館者数の割合が2:8(※3)であることから平日の入館者数は99人となる。

$$* 396人 \times 2/8 = 99人$$

(※3)福井県敦賀市のノスタルジオラマ館などの全国の同種施設へのヒアリング結果から。

(2) 基準月(9月)1か月の入館者数

上記の入館者数を基に、基準月(9月)の1か月の入館者数は5841人となる。

$$* [396人 \times \text{休日11日}] + [99人 \times \text{平日15日}] = 5,841人$$

(仮称)福知山鉄道館ポッポランド建設事業について

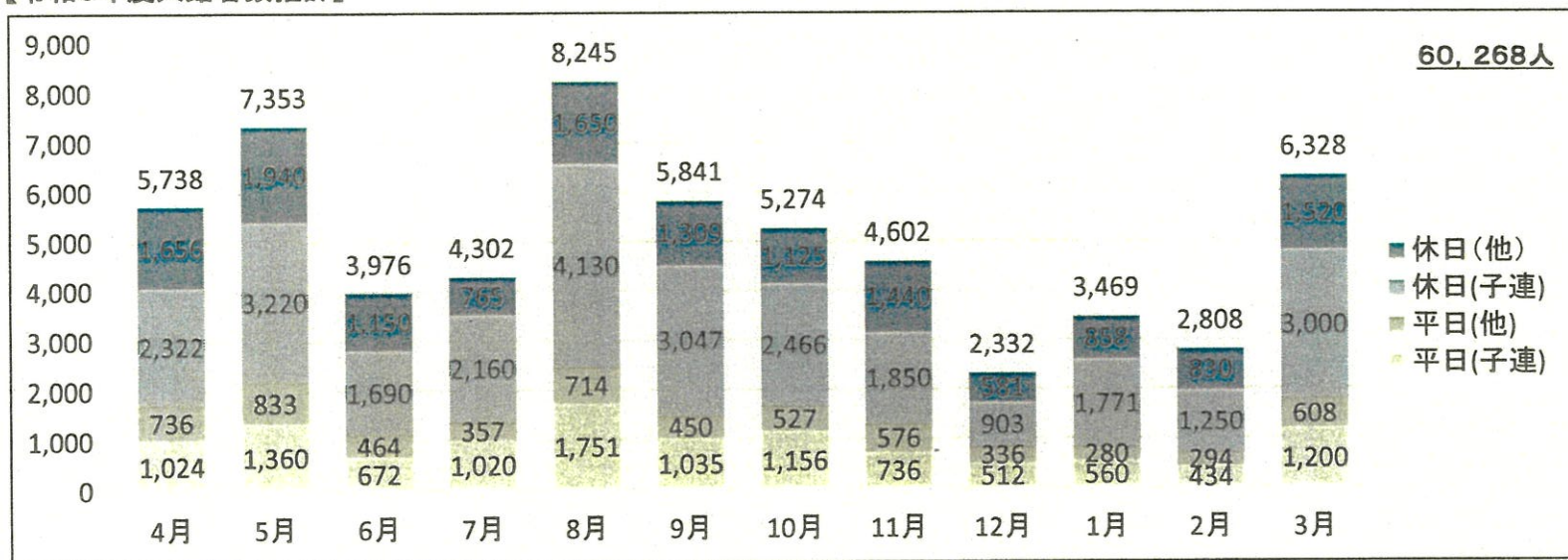
産業政策部産業観光課

3 年間入館者数の推計

児童科学館と福知山城天守閣の過去月毎平均入館者数を基に、9月を基準月とした各月の増減比率を参考とし、新施設の年間の入館者数を下図のとおり算出。

(子連れのグループは児童科学館を、それ以外の方は新施設と隣接する福知山城天守閣をそれぞれ参照。)

【令和6年度入館者数推計】



次項へつづく

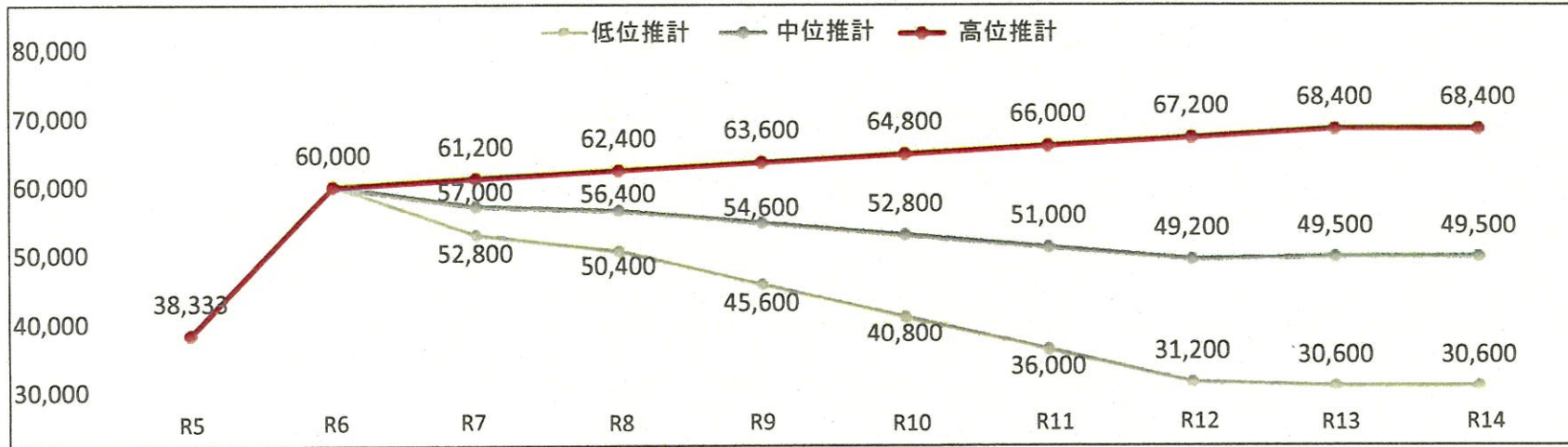
(仮称)福知山鉄道館ポップランド建設事業について

産業政策部産業観光課

【入館者数推計】

○以上の推計から令和6年度の入館者数を60,000人と想定し、下の指数を乗じて推計。

○令和5年度は、令和6年度と同条件で開館日数のみを変更し算定するが、開館が年度途中の8月となることから入館者数が少ない。



区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
高位推計	1	1.02	1.04	1.06	1.08	1.1	1.12	1.14	1.14
中位推計	1	0.95	0.94	0.91	0.88	0.85	0.82	0.825	0.825
低位推計	1	0.88	0.84	0.76	0.68	0.6	0.52	0.51	0.51

※1 各区分毎の指数は、福井県敦賀市のノスタルジオラマ館整備計画時の算定基礎数値を参照。

次項へつづく

(仮称)福知山鉄道館ポップランド建設事業について

産業政策部産業観光課

■令和6年度入館者数6万人・市直営の場合
【収支シミュレーション(経常経費に関する収支想定)】

(単位:千円)

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
収入	1 入館料	16,250	25,500	24,225	23,970	23,205	22,440	21,675	20,910	21,038	21,038
	2 シミュレーター利用料	1,800	2,700	2,565	2,538	2,457	2,376	2,295	2,214	2,228	2,228
	3 ショップ売上	12,000	15,600	14,820	14,664	14,196	13,728	13,260	12,792	12,870	12,870
	合計	30,050	43,800	41,610	41,172	39,858	38,544	37,230	35,916	36,136	36,136
支出	1 人件費	10,994	13,373	13,373	13,373	13,373	13,373	13,373	13,373	13,373	13,373
	2 事業費	10,000	12,900	12,255	12,126	11,739	11,352	10,965	10,578	10,643	10,643
	(内、ショップ仕入原価)	8,000	10,400	9,880	9,386	8,917	8,471	8,047	7,645	7,263	6,900
	3 施設維持管理費	480	480	480	480	480	480	480	480	480	480
	4 管理費	7,910	7,910	7,910	7,910	7,910	7,910	7,910	7,910	7,910	7,910
	5 事務関連経費	2,093	2,396	2,276	2,252	2,180	2,108	2,037	1,965	1,977	1,977
	6 開館準備経費	4,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7 その他	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260
合計	35,737	37,319	36,554	36,401	35,942	35,483	35,025	34,566	34,643	34,643	
収支差額	-5,687	6,481	5,056	4,771	3,916	3,061	2,205	1,350	1,493	1,493	

○令和6年度の収支想定を基準とし、別紙入館者数推計(中位推計)での入館者数の減少率を基に収入及び支出(変動費)を推計。

○令和6年度の収入の内訳は下表のとおり。

項目	単価	数量	単位	金額
1 入館料		60,000	人	25,500,000
入館料(大人)	500	44,000	人	22,000,000
入館料(小人) ※2歳～小学生	250	14,000	人	3,500,000
入館料(小人) ※2歳未満	0	2,000	人	0
2 シミュレーター利用料	300	9,000	人	2,700,000
3 ショップ売上	1,500	10,400	人	15,600,000
合計				43,800,000

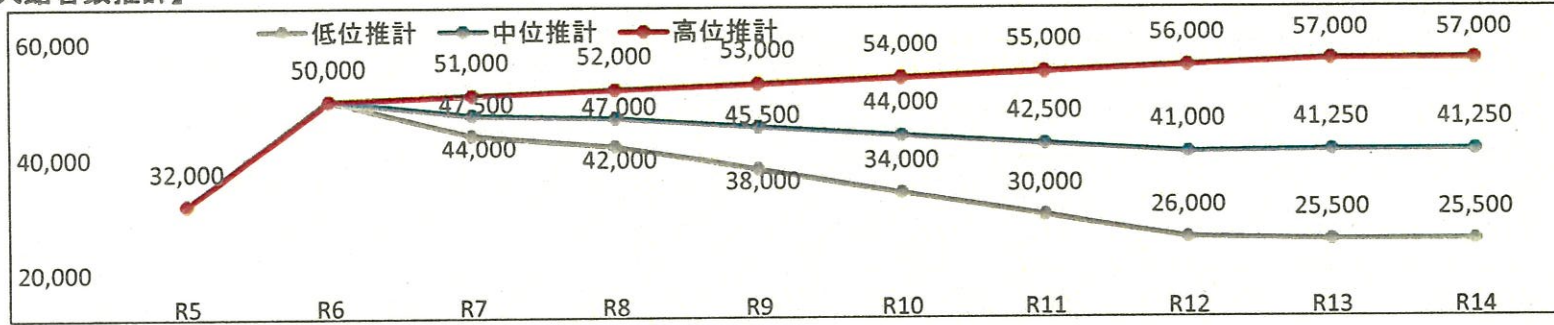
○開館初年度(令和5年度)は、8月の開館を想定しているため入館者数が少なく、入館料等収入が見込めない一方、開館に向けて年度当初から職員の配置を行う(人件費を計上)ほか、開館初年度に係るHP等制作やPR等の準備経費を計上しており、赤字を見込んでいる。

次項へつづく

(仮称)福知山鉄道館ポッポランド建設事業について

産業政策部産業観光課

■令和6年度入館者数5万人・市直営の場合
【入館者数推計】



【財政シミュレーション(経常経費に関する収支想定)】 ※中位推計

(単位:千円)

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
収入	1 入館料	13,875	21,500	20,425	20,210	19,565	18,920	18,275	17,630	17,738	17,738
	2 シミュレーター利用料	1,500	2,400	2,280	2,256	2,184	2,112	2,040	1,968	1,980	1,980
	3 ショップ売上	11,100	14,025	13,324	13,184	12,763	12,342	11,921	11,501	11,571	11,571
	合計	26,475	37,925	36,029	35,650	34,512	33,374	32,236	31,099	31,289	31,289
支出	1 人件費	10,994	13,373	13,373	13,373	13,373	13,373	13,373	13,373	13,373	13,373
	2 事業費	9,400	11,850	11,258	11,139	10,784	10,428	10,073	9,717	9,776	9,776
	(内、ショップ仕入原価)	7,400	9,350	8,883	8,438	8,016	7,616	7,235	6,873	6,529	6,203
	3 施設維持管理費	480	480	480	480	480	480	480	480	480	480
	4 管理費	7,910	7,910	7,910	7,910	7,910	7,910	7,910	7,910	7,910	7,910
	5 事務関連経費	1,704	2,049	1,947	1,926	1,865	1,803	1,742	1,680	1,690	1,690
	6 開館準備経費	4,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7 その他	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260
合計	34,748	35,922	35,228	35,088	34,672	34,254	33,838	33,420	33,489	33,489	
収支差額	-8,273	2,003	801	562	-160	-880	-1,602	-2,321	-2,200	-2,200	

項目	単価	数量	単位	金額
1 入館料		50,000	人	21,500,000
入館料(大人)	500	37,000	人	18,500,000
入館料(小人) ※2歳~小学生	250	12,000	人	3,000,000
入館料(小人) ※2歳未満	0	1,000	人	0
2 シミュレーター利用料	300	8,000	人	2,400,000
3 ショップ売上	1,500	9,350	人	14,025,000
合計				37,925,000